

我が子の親を 少し休んでみませんか

「怪我をしないかな」「迷惑をかけないかな」…。
子どもを想うほどに心配が増えて肩に力が入っちゃう。
親としては当然のことなのだけど…、
少しだけそんなモードを休憩しませんか？

といっても、子どもから目を離すことではない。
張りつめていた手をほんの少しだけ緩めてみることに。

そのとき大切になるのが、
”本当に危ないこと”と”学びになること”を見分ける目。
それは特別な技術ではなく、
親も一緒に育ちながら身につけていくものです。

自然のなかで、その距離感を練習してみる。
そんな小さな一歩の歩み方を一緒に考えましょう。

講師

つかこし あきら

塚越 暁さん

原っぱ大学ガクチョー
HARAPPA株式会社 代表取締役



2021年度
泉区13園の先生たちに向けた
「遊び」研修を3回実施

1 他の子なら待てるのに
我が子だと口が出る
それは当然。でも、なぜ？

2 「信じて手を離す」と
「目を離す」は違う
言葉にできますか？

3 3歳の危険は崖
10歳の危険はSNS
変わらないのは
判断する目を持つこと

📅 日時

2026年
8月28日(金)
10:00～13:00

📍 会場

横浜市泉区民文化センター
テアトルフォンテ ギャラリー

申し込み

QRコードから申し込み



¥ 参加費

300円
事前決済のみ

👥 対象

保護者・保育者・地域の大人

60名
先着順



大人向け講演会のため、子連れ参加はご遠慮ください。



還すラボ
kaeslab.jp

小さな人たちに 彼らの時間を還す

その視点で 学び 考える場

主催：還すラボ実行委員会